

# はじめに

## 1. 熊本県地域医療支援機構 理事長あいさつ



熊本県地域医療支援機構 理事長  
熊本大学病院 病院長

馬場 秀夫

皆様方には、平素より「熊本県地域医療支援機構」、「地域医療・総合診療実践学寄附講座」及び「地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座」の取り組みに、多大なご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。この度、令和3年度の活動報告書を作成致しましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

熊本県地域医療支援機構は、平成25年12月に設置され8年目が経過しました。「地域医療・総合診療実践学寄附講座」は、設置から6年が経過し、令和4年度以降も継続することとなりました。また、「地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座」につきましても、設置より3年が経過しましたが、引き続き寄附講座としての事業を展開していくこととしております。

さて、私は昨年4月に熊本大学病院長を拝命し、県内の主な医療機関をお訪ねする機会を得ました。熊本県の医師数は全国的に多いとよく言われますが、熊本市は人口10万人当り医師数419名、一方熊本市外は約190名と医師の偏在が顕著であり、まだまだ地域の医師不足は解消されていないと実感しました。また、地域においては、深刻な人口減少と高齢化に加え、昨今のコロナ渦の中、地域住民に適切な医療サービスを提供するために、各医療機関非常に苦勞されている実態を肌で感じてまいりました。

地域における持続的かつ適正な医療提供体制を確保するために、医師を派遣する立場の熊本大学病院と、医師の地域偏在の解消のための業務を実施する熊本県地域医療支援機構の長として、熊本県と連携して取り組みを進める必要があることを強く心に留めたところです。

新型コロナの猛威は3年度も引き続き、地域医療支援機構事業、寄附講座事業についても昨年度以上に当初の計画の中で中止、変更、縮小といった決断をせざるを得ない状況もあり、十分な取り組みが出来なかった面もありました。しかしながらオンライン配信等々の工夫をこらし、事業の歩みを止めることなく、できることを一つ一つ着実に取組んでまいりました。

本県の地域医療を取巻く状況が厳しい中、「熊本県地域医療支援機構」、「地域医療・総合診療実践学寄附講座」、「地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座」が連携して、それぞれの役割を果たしながら、(1)地域医療を志す医学生や地域医療に従事する医師のキャリア形成支援、(2)地域の医療提供体制の確保に向けた支援、(3)学生に関する地域医療マインドの涵養、(4)総合診療医の育成、(5)地域医療拠点病院を核とする圏域の医療機能の向上、(6)新専門医制度における修学資金貸与医師等のキャリア形成の支援等について、継続的に更に推進していくこととしています。

今後とも熊本県、医師会、市町村並びに地域医療関係者などの関係諸団体との連携を一層強化し、県内各地のニーズに沿った地域医療が提供されるよう努力してまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(令和4年3月吉日)

## 2. 地域医療支援センター長あいさつ



熊本大学病院 地域医療支援センター センター長  
熊本大学病院 総合診療科 教授

松井 邦彦

熊本県地域医療支援機構／熊本大学病院地域医療支援センター、熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座、および熊本大学病院地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座の、令和3年度の報告書をお送りいたします。ご高覧いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症の流行が及んだこの2年間、私たちの生活様式は大きく変わりました。地域枠入学の熊大生を主な対象とした夏の地域医療特別実習は連続の中止となり、その他の様々な活動についても縮小や中止せざるを得ない状況が続いています。そのような中、熊本県医師修学資金貸与制度の第1期生の方々は、令和3年度には卒業後7年目を迎え、医師としてのキャリアを確実に積み重ねつつ、義務の償還も着々と行っていただいています。他県と比べ医師数としては比較的恵まれている熊本県ですが、熊本市内への集中は以前より言われているところであり、県内の地域医療の現場では、医師不足はまだ深刻です。しかしながらこの医師修学資金制度や地域医療連携ネットワークの取り組みも含め、県や熊本大学病院が長年にわたり行ってきた様々な対策や努力の甲斐あって、県内地域で活躍される方々は確実に増え、その効果が実感されるまでになりつつあります。

私たち地域医療支援センターの責務には、まず医師修学資金貸与生の方々のキャリア支援があり、その上で義務の償還を円滑に進めていただくことができるよう、これらの両立を目指した支援が求められています。それには対象者ご本人のみならず、熊大病院の各診療科、そして県内地域の施設の皆さん方のご協力と信頼関係の構築が不可欠であり、それらの上に成り立つものと考えています。私たちは、熊本県医療政策課のご指導とご支援を受け、それぞれの関係者の間に立ち調整する役割を担っています。その重要性は、対象者数の増加と共にさらに増しつつあると思います。新型コロナウイルス感染症の流行は繰り返し、新しく導入される働き方改革がどのように影響するかも含め、県内地域医療の不安要因は多くあります。そのような中でも、私たちができること、やるべきことを一つずつ行うことで、解決を目指したいと思います。道のりは長く続きますが、今後ともご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 3. スタッフ一覧

#### ◆ 熊本県地域医療支援機構(熊本大学病院 地域医療支援センター)

松井 邦彦 地域医療支援センター長  
総合診療科 教授

谷口 純一 地域医療支援センター副センター長  
(地域医療・総合診療実践学寄附講座特任教授)

後藤 理英子 特任助教  
糖尿病・代謝内分泌内科

高柳 宏史 特任助教  
総合診療科

古賀 義規 客員研究員  
(御所浦診療所所長)

片岡 恵一郎 客員研究員  
(小国公立病院病院事業管理者)

松岡 大智  
地域医療支援コーディネーター

若杉 秀作  
地域医療支援コーディネーター

高塚 貴子  
女性医師復職支援コーディネーター

尾方 千穂 事務補佐員

横手 友紀子 事務補佐員

#### ◆ 熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座

谷口 純一 特任教授  
総合診療科

北村 泰斗 特任助教  
総合診療科

佐土原 道人 特任助教  
総合診療科

山並 美緒 事務補佐員

山口 香 事務補佐員

#### ◆ くまもと県北教育拠点(くまもと県北病院)

田宮 貞宏 熊本大学非常勤講師  
総合診療科

小山 耕太 熊本大学非常勤講師  
総合診療科

久保崎 順子 特任助教  
総合診療科

#### ◆ 天草教育拠点(天草地域医療センター)

松本 朋樹 特任助教  
総合診療科

中村 孝典 特任助教  
総合診療科

#### ◆ 河浦教育拠点(河浦病院)

鶴田 真三 特任助教  
総合診療科

#### ◆ 熊本大学病院総合診療科医局員

武末 真希子

松田 圭史

空田 健一

平賀 円

#### ◆ 専攻医(熊本大学病院総合診療専門研修プログラム)

永田 洋介  
後期研修医4年目

早川 香菜美  
後期研修医4年目

下地 徹  
後期研修医3年目

本田 宏介  
後期研修医2年目

松岡 隼平  
後期研修医1年目